

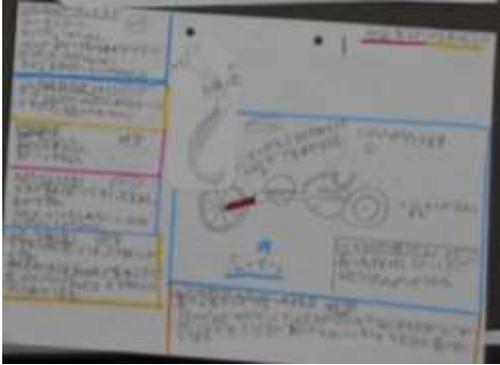
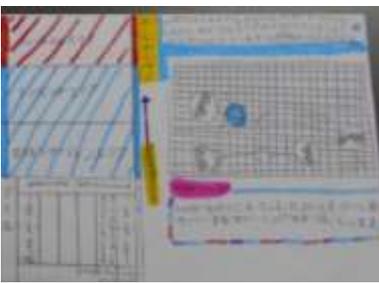
# 2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 島根県 】

学校名【 川本町立川本小学校 】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・③・Ⅳ・⑤
2 実施対象者 (学年・人数)	<p>実践の主体：川本小学校第3学年16名</p> <p>発表会参観者：全校児童116名とその保護者</p> <p>発表会視聴者：町民多数</p>
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（総合的な学習の時間）</p> <p>② 行事名（学習発表会）</p> <p>③ その他（昼休み）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（※学習発表会は地域へも開放、ケーブルテレビでも放送）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 (ねらい)	本校第3学年が、パラリンピックについて学習し、理解を深めるとともに、その趣旨や楽しさを周囲に伝え、2020パラリンピックへの興味関心を高める。
5 取組内容	<p>3学年 総合的な学習の時間</p> <p>『川本町からパラリンピックを盛り上げよう』</p> <p>◆7月、9月</p> <p>「各自で興味があるパラリンピック種目を調べ、お互いに発表し合う。」</p>
	 <p>購入した図書</p>    

◆10月

《実際にパラリンピアンの方のお話を聞く。ボッチャを教えてください。》



山口県障害者スポーツ協会会長の藤田英一さんをお招きして

- ・ご自身の体験談
- ・シドニーパラリンピック出場の時のお話（映像も）
- ・パラリンピックに期待すること（人間の可能性…）
- ・誰でもできるボッチャの体験
- ・一緒に給食を

◆11月

《今まで学んだことを学習発表会でみんなに知らせる。》

- ・パラリンピックのはじまり
- ・道具の工夫
- ・ボッチャの説明
- ・パラスポーツのすばらしさ

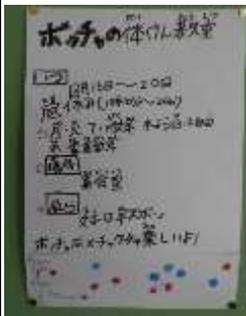


パラリンピックは人間の可能性への挑戦

◆1月

《ボッチャ体験教室を開く。》

- ・昼休憩の時間に招待する学年を決めて、集会室でボッチャのルール説明をし、ゲームを楽しむ。（複数回）



↑ 3年生のルール説明を熱心に聞く高学年  
説明する3年生 ↑

↓ ゲームを楽しむ低学年 ↓  
↓ ゲームの審判をする3年生 ↓



6 主な成果

3年生が学習を進めるうえで、自分たちの取組の成果がはっきりとわかるように全校児童（100名）にアンケートを実施することにした。

Q1パラリンピックにどのような競技があるか知っていますか。

Q2どのような人がパラリンピックに出場しているか知っていますか。

Q3東京パラリンピックを見たり応援したりしたいですか。

	Q1	Q2	Q3
取組前（9月）の「はい」	67%	46%	72%
	↓	↓	↓
取組後（1月末）の「はい」	85%	67%	78%

どの項目も実施後には上がっており、取り組んだ3年生は大満足であった。3年生の取組により、パラリンピックについての理解が深まり、興味関心が高まったことは間違いない。

保護者に対してはアンケート等実施していないが、学習発表会の時に、客席の大人が、「へえ、そうだったの」という声を漏らしていたという話を聞いた。しっかりと大人にも伝えることができたと判断したいものである。

7実践において工夫した点（事業の特色）

川本小学校の学習発表会は、隣接する悠邑ふるさと会館の1000人収容できるホールを使って行う。またその様子は地元ケーブルテレビに録画され、後日ひと月間放送される。この場を使い3年生の児童が学習したことを発表することは、全校児童だけでなく、保護者や地域の人々への発信も兼ねており、かなりの宣伝効果があったと考える。

またその後、3年生の児童が主体となって、ボッチャの体験活動を、各学年の児童に対して企画したことは、見る、聞くでは味わえない楽しさを体験することにつながり、競技に対する興味関心が大きく育ったと考える。

8主な課題等

小学生ではなかなか難しいが、地域へ出かけての体験活動などを企画することができるとさらに良いと考える。本校でもボッチャの道具を2組揃えたので、この後PTA活動や地域への貸し出しということも考えていきたい。

9来年度以降の実施予定

今年度の事業によって揃った図書や道具の有効活用をしていきたい。

- ・ 国語の学習に登場するパラリンピックについての単元での図書の活用。
- ・ 学級活動や学級行事、地域の公民館などでのボッチャの道具の活用。